



園 だ よ り 10 月 号

YMCA 保育園ねがい
2023 年 10 月 3 日発行

「羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。」

ヨハネ 10 章 16 節

9月になってやっとプール遊びができるという、厳しすぎる今年の暑さでした。園でも、暑さと疲れから体調の乱れにつながる子どもたちが大勢いました。暑い中頑張ってきた大人には、これから夏のダメージが現れるかもしれません。どうぞ、子どもたちといっしょにたくさん遊んで、いっしょに良い休息が取れますようにと願っています。終わりが無いように感じる子育ての時間は実は限られたゴールデンタイムだからです。

さて、10月は羊飼いの話です。聖書が書かれた世界では、羊は大切な財産となる重要な家畜だったようです。「良い羊飼い」は自分の命を懸けて「盗人」や「狼」から羊の命を守ると書かれています。そして、羊飼いは羊のことを心にかけてよく知り、一匹ずつ名前を呼ぶので、羊も自分の羊飼いの声を聞き分け、導かれるとあります。

YMCA では、以前から一人ひとりの名前を呼ぶことを大切にしてきました。保育園でも、大人も子どももお互いを大切に思って「〇〇さん、△△ちゃん、◇◇くん」と呼んでいます。園では年齢が異なるいろいろな人がいっしょに生活をしています。子どもたちはここでの出来事を良く見、話す言葉を良く聞いています。（子ども同士も、大人の事も！）そして、心に響いたことをその時にできる方法で表現しています。泣いている友だちの頭をそっとなでる姿は0歳児から見られます。思い通りにいかない時の葛藤は泣いたり戦ったりしながらずっと続きます。でも、幼児になる頃から少しずつ譲ったり、交渉したりできるようになり、相手が自分より困っていることに気づき心が動かされた時には、優しくかわれるようになってきています。戦うことより協力することで、明るい発展を遂げてきた人類の歴史にならって、それぞれを尊重し合い心を通わせていく様子に触れ、いっしょにいる大人が感動し、希望を感じています。

現実には、思い描いていた事とはいつも異なっています。でも、私は導かれる道に従っていきたいと願っています。私たちを導く羊飼いは神様だけだと信じているからです。

（園長 今井 世都）